

人工授精—人工授精は何回まで？

「人工授精は何回まで意味がありますか？」という質問を時々受けます。

もちろん、妻の年齢や、精液所見、卵胞数等様々で、一概に答えは出せませんが、色々な報告から判断すると、大体以下の様に考えてよいと思われます。

しっかりとした方法で、排卵日に人工授精を行えば、妊娠する例は大体3～5周期までには妊娠します。それ以上行っても成績は横ばいであり、妊娠は期待できない事がほとんどです。

まれに人工授精15回目とか20回目で妊娠したという人がいますがそれは極めてまれなケースです。つまり人工授精は5～6回までとして、それで妊娠しない場合は妊娠できない理由があると考えて、治療を次のステージへとステップアップした方がよいと思われます。以下その方法を説明します。

腹腔鏡検査をする

腹腔鏡でお腹の中をのぞいてみると、卵管や卵巣の周囲に癒着が見つかる事や、初期の子宮内膜症が見つかる事もあります。こういう小さな癒着でも剥離することで妊娠してくるケースがかなり多く見られます。

体外受精を行う

精液検査で精子の数や動きに問題がない人でも、体外受精をしてみると実は受精障害が見つかる事や、若い人で卵の質は良いと思っていた人でも、採卵してみると卵の質に問題があったというケースもあります。こういう事は体外受精を行わないとわかりません。